



国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2010-2011

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020
URL <http://www.suita-west-rc.org>
例会会場 新大阪江坂東急イン
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109
例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：村井正雄 幹事：渋谷清明 会報委員長：佐藤洋一

地域を育み 大陸をつなぐ

4

つのテスト ●真実かどうか ●みんなに公平か ●好意と友情を深めるか ●みんなのためになるかどうか

第1405回例会 平成23年2月28日

卓話「未来の夢計画」に基づく新補助金
家村パスト会長
今週の歌「おゝロータリー」

先週内容

会長挨拶

村井会長



金曜日に本年度最後の炉辺談話が国際奉仕の主催で有りました。ポリオ(急性灰白髄炎)についての説明から、国際奉仕の関連事業、ナコンパノムやコロボセントラルの事について、パスト会長からの説明等をしていただき、全員から色々な意見が出ました。(ポリオは日本では1960年に5千人を越え、1980年には1例で終息しました。)現在でもインド、パキスタン、南西アジア、サハラより南のアフリカ諸国ではまだ残っています。

- ・ GSE の送迎の人も増えました。有難う御座居ます。
- ・ 明日、12RC会長幹事会に出席します。

世界理解月間

次週 第1406回 例会予告 平成23年3月7日

卓話「私とロータリー」 新井パスト会長
Weekly No. 1405は佐藤委員長が担当しました。
Weekly No. 1406は伊藤副委員長が担当の予定です。
(本日の原稿をお渡し下さい)

今日の一句

俳句同好会
小林会員 (山牛)



平成23年2月28日

野を焼いて今日新たなる雨降り
渡辺白泉

幹事報告

渋谷幹事



- 1.明日(2/22)12RCの会長・幹事会がありますので、村井会長と私が出席させていただきます。
- 2.GSEのホームステイ対応に関する調整ミーティングを例会終了後行ないます。

出席報告

高木委員長

- 会員数 50名 ●来客 0名
- 出席会員数 44名 ●本日の出席率 89.80%
- 1月31日の出席率(メーキャップを含む) 100%

国際奉仕委員会

澤井委員長

2月18日(金)17名の出席者を得て、国際奉仕担当の「炉辺談話」をくりーん亭に於いて行いました。1982年以来、約30年に及ぶロータリー最大のプログラム「ポリオ・プラス」の活動と、その歴史について、有意義なる意見の交換が出来ました。

間もなく再び「ポリオ・プラス」への御寄付を皆様、御願ひする事になりますが、御協力の程、宜敷く御願ひします。

- ◆清水会員
先週の欠席のおわびです。
- ◆鈴木会員
岡会員、家内が大変お世話になりました。感謝。
- ◆高木会員
クラブにバレンタインのプレゼントの気持ちを込めて。

本日のニコニコ箱	11,000円
累計のニコニコ箱	674,336円
本日の1コインニコニコ箱	782円
累計の1コインニコニコ箱	29,111円

卓話 「半生、反省」 中堀パスト会長



1927年(昭和2年)生まれ、7回目の年男です。いつの間にか最高齢者になってしまいました。私は今専ら半生の反省ばかりというところです。昭和から平成、戦争と平和、経済の大きい変化、社会の極端な変化、つくづく感じる次第です。

生まれた頃は丁度、世界各国が領土問題・経済戦、いわば帝国主義の争いだったと思います。1929年には大恐慌だったのですが、意識する年齢ではありませんでした。

しかし、小学校へ入った頃から日本は戦争に走り出しました。1931年(昭和6年)満州事変、1937年(昭和12年)日中戦争、今とは異なる世相でした。この頃すでに日本にもロータリー倶楽部が結成されていましたが、大変なことだったと思います。

1940年(昭和15年)大阪市立都島工業建築科へ入学しました。私の父は大工(宮大工半分、町家半分)でした。今も尊敬しています。2年生のとき(1941年・昭和16年)日米戦が始まりました。いわゆるパールハーバー攻撃に始まる大戦争です。

世間は全くの戦時色、私も精神的に動揺、とうとう「海軍の学校」へ志願すると父に言いました。父の顔色が変わったことは今も忘れ得ません。建築を捨てたわけです。

今、反省している大問題です。1944年(昭和19年)海軍兵学校入校、戦時下の海軍教育はさまざまいいものです。11月の訓練で「体は強くなり、頭は悪くなった」感じでした。軍隊は今では信じられないくらい厳しい組織でした。

1945年(昭和20年)8月敗戦。京都へ帰りました。しばらくは精神的動揺が続きました。旧制第三高等学校へ編入学が許され、その後大学の建築科を受験しましたが見事不合格。ここが大きな反省点です。もう少し頑張れば良かった！後に土木工学科へ入ることが出来、やがて卒業しました。

この頃の私は精神的によろめいていました。反省！地盤調査会社へ就職、10年務めた後、地盤コンサルタント業・中堀ソイルコーナを創設、以来49年続けております。

建築そのものは離れましたが、建築・土木の基礎には取組んでいるつもりです。地盤・基礎は現代社会では大切でありながら、一つの盲点になっていると思います。土木・建築の構造物基礎は沈下しないか、地震で大丈夫か、崖くずれは大丈夫か、断層との関係は？いろいろ地盤には問題があります。天地と言いますが、天も大切、地も大切です。私は大地の使者でありたいと念願しています。

職業奉仕としては、立派な大地の使者でありたい、この一念です。

半生の反省から今の心境になった次第です。

— クラブ俳句同好会 —

第二百八十二回句会

兼題「梅」「鶯」「春隣」及び当季雑詠

遠かりし道遠からず春隣
 転た寝が引きつれてくる春隣
 市役所の昔二ノ丸梅月夜
 梅園へ匂ひのままにいざなはれ
 春近しレースリングに髪束ね

憲治「特選」

「主宰の一句」

谷深くふかく初音のこぼれゆく

久美子

憲治

みあきら
みかよ

ときよし

【今後の予定と兼題】
 第二百八十三回句会 平成23年3月7日
 兼題 「耕す」「春雷」当季雑詠 ※出句は7句